



**All Activities for Cancer Patients**  
職員の全ての活動はがん患者のために！  
独立行政法人 **国立がん研究センター**  
〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1  
TEL 03-3542-2511 FAX 03-3542-2545

**National  
Cancer  
Center**

平成 22 年 11 月 5 日

## 「がんワクチンの実用化に向けてー入口から出口までー」 国家戦略としてのがん研究シンポジウム（第 2 弾）の開催のお知らせ

国立がん研究センター理事長 嘉山 孝正

国立がん研究センターは、平成 22 年 4 月 1 日から独立行政法人に移行し、「世界最高の医療と研究を行う」「患者目線で政策立案を行う」という新しい理念を掲げ、「職員の全ての活動はがん患者のために！」の新標語のもと、全職員が結束し、多くの新たな取り組みを開始しております。

今回、国立がん研究センターでは、がん医療における新たな治療法として期待されているがんワクチンについて、日本発で開発し実用化を実現するために解決すべき課題を明確することを目的に、国家戦略としてのがん研究シンポジウムの第 2 弾として、「がんワクチンの実用化に向けてー入口から出口までー」を開催することといたしました。

本シンポジウムでは、がんワクチンの安全性・有効性を科学的に検証し、この分野における日本の有利な点や、遅れている点を明らかにしたいと考えております。また、日本で新たながん治療法の開発を迅速に実現するために、どのようにインフラを整備していくかということについてもあわせて議論を行い、がんワクチンを実用化するために取り組むべき課題を明らかにする予定です。

### 記

日時：平成 22 年 11 月 16 日（火）17：00～20：00

場所：国際研究交流会館 3 階 国際会議場（国立がん研究センター築地キャンパス内）

【中継会場】国立がん研究センター管理棟 1 階 特別会議室

104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

参加方法：別紙参照

以上

照会先 国立がん研究センター総務部総務課広報室 山下、桐本、加藤  
TEL 03-3542-2511 FAX 03-3542-2545



# All Activities for Cancer Patients

職員の全ての活動はがん患者のために！

独立行政法人 **国立がん研究センター**

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1  
TEL 03-3542-2511 FAX 03-3542-2545

**National  
Cancer  
Center**

## 国家戦略としてのがん研究シンポジウム 第2弾 「がんワクチンの実用化に向けてー入口から出口までー」

平成 22 年 11 月 16 日（火曜日） 17 時ー20 時

国立がん研究センター 国際研究交流会館 3 階 国際会議場

- (1) シンポジウムの目的について 国立がん研究センター理事長 嘉山 孝正
- (2) 第一部 がんワクチンを実用化するために必要なインフラは何か
  1. がんワクチン療法の現状と課題  
伊東 恭悟 (久留米大学医学部免疫・免疫治療学講座 教授)
  2. シーズの発見に必要なものは何か①  
中村 祐輔 (国立がん研究センター研究所 所長)
  3. シーズの発見に必要なものは何か②  
河上 裕 (慶応義塾大学大学院医学系研究科先端医科学研究所 教授)
  4. シーズをワクチン化(製剤化)するために必要なものは何か  
杉山 治夫 (大阪大学大学院医学系研究科機能診断科学 教授)
  5. ワクチンの治験/臨床試験を行うために必要なものは何か  
珠玖 洋 (三重大学大学院医学系研究科病態解明医学講座 教授)
- (3) 第二部 産・官・学 それぞれの立場から他者へ求めるもの
  6. 国内外のがんワクチン開発成績ー論文および米国承認申請資料のレビューよりー  
藤原 康弘 (国立がん研究センター中央病院)
  7. 治験/臨床試験終了から製品化するために必要なものは何か。海外と比較して本邦で足りないこと・欲しいものー研究者の視点からー  
平家 勇司 (国立がん研究センター中央病院)
  8. がんワクチンを承認申請する際に求められることー規制当局の視点からー  
三宅 真二 (独立行政法人医薬品医療機器総合機構)
  9. ベンチャー開発品目を上市するために欲しいものー大企業の視点からー  
赤羽 浩一 (第一三共株式会社研究開発本部 癌研究所長)
  10. 我が国における産学連携の現状と課題  
山本 貴史 (東京大学 TLO 代表取締役社長)
- (4) 第三部 パネルディスカッション  
座長 嘉山 孝正 (国立がん研究センター理事長)

(別紙)

## 参加を希望される一般の方へ

国際会議場は座席数に限りがありますので、参加者多数の場合には、センター内の会議室にてテレビ中継で御覧いただきます。中継会場からの質問もお受けいたします。

- 会場設営の関係上、参加を希望される方は、参加申込書を 11月15日(月)(当日9時必着) までに、事務局へ FAX で送信してください。(電話でのお申し込みはご遠慮ください。)
- 参加の受け付けは、先着 50 名までといたします。
- 定員となり次第、受け付けを締め切らせていただきます。参加できない方に対しましては、後日 FAX にてご連絡差し上げます。(参加可能な方には、特段通知はいたしません。)
- 参加申し込みをせずに、当日会場にいらした場合は、会場の関係上、参加をお断りいたしますのでご了承ください。
- 携帯電話等の電源は、必ず切ってください。
- 傍聴中、飲食又は喫煙はご遠慮ください。
- その他、職員の指示に従うようお願いいたします。

**送信先 : FAX 03-3542-2545** カバーページなしで御送信ください  
締め切り : 11月15日(月)(当日9時必着)まで

国立がん研究センター広報室 行

## 一 般 参 加 申 込 書

この度は、下記のとおり、国家戦略としてのがん研究シンポジウム第2弾「がんワクチンの実用化に向けて」への参加を希望いたします。

### 記

1. 氏 名
2. 参加人数                      人
2. 所 属
3. 住 所
4. 電話番号
5. F A X